

障害者支援施設三田療護園

令和 7 年度地域連携推進会議概要

令和 7 年 7 月 23 日

三田療護園 石原

1 開催日時 : 令和 7 年 6 月 12 日 10:00 ~ 12:00

開催場所 : 三田療護園 談話室

2 出席者

三田療護園利用者代表	五十嵐良行 氏
三田療護園家族代表	後川光徳 氏
地域住民代表	勝本政隆 氏
行政関係者	久保利彰 氏 (三田市障害福祉課係長)
	家門千香子 氏 (三田市障害福祉課)
三田療護園職員	畑利彦 (三田療護園施設長)
	石原隆栄 (三田療護園サービス管理責任者)
	松本あゆみ (三田療護園サービス管理責任者)

3 会議概要

(1) 資料を基に会議を実施

※質疑応答

「施設について」

・福祉の里内でも三田市のハザードマップの警戒区域に該当する場所があるのでは？また、避難方法等は考えてあるのか？

→福祉の里内では、三田療護園、医療福祉センターさくら、保育所、職員寮が警戒区域に該当。マップの作成後に砂防ダムを整備しており、当初よりはリスクは低くなっているが、マップから除外はされていない現状。また、災害時の避難は、福祉の里の敷地内の警戒区域に外れている施設への避難を想定しています。

・利用者の高齢化が進んでいるか、今後看取り等はどうされるのか。

→現状では、看取り対応になる前に何らかの医療行為が必要となり退所されるケースがほとんどであり、今後の状況も見ながら検討します。

・生活支援員の中で CW と介護部門の違いはどういったものか。

→CW (ケースワーカー) は利用者の相談業務等に重点を置いており、介護部門は利用者への介護業務に重点を置いています。

「地域交流について」

・春祭りに参加したが、人も多くにぎわっていた。本人も楽しんでいた。

・先日コミュニケーション麻雀及びアロマセラピーの実施で利用者に関わる機会があった。

→利用者も喜ばれており、アロマオイルでは男性利用者の順番待ちができるほど好評でした。

「権利擁護について」

・施設の目線が利用者よりも職員よりになっていると感じることもある。

→施設としては、利用者の皆様の安全を考えて支援を行っている中で利用者の生活の場でもある

ことを配慮しているが、至らない点もあると思います。今後も意見を出して頂くことで考えていければと思います。

→利用者目線での対応が弱くなっているのでは、利用者目線での対応を心掛けて欲しい。

→利用者の方、施設で意見を積み重ねることによりよくして欲しい。

・利用者の食事等で福祉の里で統一された為、他の施設に合わせたメニューや味付けになってしまい、身体障害者の自分からすれば物足りなく感じるが多い。

→厨房設備が療護園単独ではないため、要望通りの改善等はすぐには困難ですが、定期的に利用者の意見確認や各施設の事情を汲み取りながら継続的に検討しています。

(2) 見学

・施設内の見学および、共用棟の見学。

(3) 参加者評価、感想

- ・以前より関わる機会があったので、顔見知りの利用者も多く今後もいろんな形で関われる機会があればと思います。
- ・施設の現状や実際の支援の様子を見ることができ、利用者や家族、地域の方の意見を聞くことができ、有意義な機会になったと思います。
- ・実際に施設の見学ができ、利用者の声を聴くことができてよかった。
- ・家族が実際に生活する場所が見れてよかった。
- ・コロナの影響で生活様式も大きく変わり、施設も様々な面で以前の対応に戻ってきているが、今後も良くなって欲しい。



令和7年三田療護園 地域連携推進会議

令和7年6月12日 10:00~12:00

於：三田療護園談話室

会議次第

○はじめに

- 1 地域連携推進会議について
- 2 出席者自己紹介

○事業所紹介

- 1 北摂三田福祉の里について
- 2 三田療護園について
 - ①利用者について
 - ②職員について
 - ③BCP等について

○地域との交流について

○利用者の権利擁護について

- ①三田療護園の1日
- ②活動紹介
- ③利用者との意見交換会
- ④利用者のリスクマネジメントについて

○施設見学

○感想、振り返り

1. 地域連携推進会議について

○居住系サービスである障害者支援施設及び共同生活援助（以下「施設等」という。）において、各事業所で地域の関係者を含む外部の目を入れた「地域連携推進会議」を開催すること及び会議の構成員が事業所を見学する機会を設けること（それぞれおおむね 1年に1回以上）が義務化。

「目的」

- ・ 地域の人への施設や利用者に対する理解の促進
- ・ 利用者と地域との関係づくり
- ・ サービスの透明性と質の確保
- ・ 利用者の権利擁護

2. 会議出席者自己紹介

- ・五十嵐 良行氏（施設利用者代表）
- ・後川 光徳氏（施設利用者家族代表）
- ・勝本 政隆氏（地域住民代表）
- ・久保 利彰氏（三田市役所障害福祉課）
- ・畑 利彦（三田療護園施設長）
- ・石原 隆栄（三田療護園サービス管理責任者）
- ・松本あゆみ（三田療護園サービス管理責任者）

・事業所紹介



1. 北摂三田福祉の里について

- ・ 障害者支援施設 三田療護園
- ・ 障害者支援施設 三田こぶしの園
- ・ 特別養護老人ホーム 三田楽寿荘
- ・ 介護老人保健施設 愛
- ・ 医療福祉センターさくら
- ・ 三田福祉の里相談支援センター

2. 三田療護園について

「社会福祉法人枚方療育園 三田療護園」

平成元年7月 身体障害者療護施設「三田療護園」として開設
(サービス) 施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時

①利用者について ※令和7年6月12日現在

・利用者数 96名

男性利用者 59名 女性利用者 37名

・平均年齢

男性平均年齢 64歳9カ月 最高齢80歳 最小齢49歳

女性平均年齢 60歳1カ月 最高齢88歳 最小齢23歳

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
2	1	3	35	25	28	2

・平均在籍期間 10年8カ月

最長在籍者 平成3年6月入所 (女性88歳)

・平均障害支援区分 5.6

区分6	区分5	区分4	区分3
71	20	4	1

※重度の医療行為が必要な利用者 23名 (1名重複)

(胃瘻5名、ストマ6名、バルン11名、導尿2名)

・利用者障害種別 (所持手帳)

身障手帳のみ 66名 療育手帳のみ 1名 精神手帳のみ 2名

身障手帳、療育手帳所持 16名 身障手帳、精神手帳所持 10名

身障手帳、療育手帳、精神手帳所持 1名

・退所者 (令和6年度)

11名 (死亡3名 長期入院8名 ※退所後死亡6名)

②職員について

・職員配置

施設長 1名、事務員1名、サービス管理責任者 2名

生活支援員 4 6名（CW 2名、介護部門 4 2名）※介護福祉士 2 4名

→介護部門（内：主任 2名、副主任 2名、パート 2名）

看護師 8名（内：パート 2名）、理学療法士 2名

介助員（パート） 8名 ※清掃 3名、配膳 4名、洗濯 1名

管理栄養士 1名、調理師 6名、調理員（パート） 1名

運転員 1名

医師（非常勤） 2名

・勤務時間について

原則、9：00～17：00以外は介護部門職員のための勤務

各部門の勤務時間について（棟内業務職員）

○9：00～17：00

「施設事務所職員」 施設長、事務員、サビ管、CW

「医務部門」 看護師

「介助員」

○「介護部門職員」

「7：30 ～15：30」 6～8名

「9：00 ～17：00」 1～6名

「11：00～19：00」 8名

「13：00～21：00」 2名

「17：00～ 9：00」 4名

③BCP等について

自然災害発生時における業務継続計画

障害者支援施設 三田療護園

法人名	社会福祉法人秋万園	種別	障害者支援施設
代表者	山西 博道	施設長	畑 利彦
所在地	兵庫県三田市東本庄1188	電話番号	079-568-2568

新型コロナウイルス発生時における業務継続計画

障害者支援施設 三田療護園

法人名	社会福祉法人 秋万園	種別	障害者支援施設
代表者	山西 博道	施設長	畑 利彦
所在地	兵庫県三田市東本庄1188	電話番号	079-568-2568

※北摂福祉の里各施設で作成済み

※福祉の里全体でも防災計画あり

・地域との交流について



○北摂三田福祉の里春祭り
毎年春に開催、地域の方も招待

○三田市社会福祉協議会等を通して地域のボランティアとの交流
※本庄ふれあい協によるコミュニケーション麻雀等

○実習生等の受け入れを実施

○施設見学も随時実施（要事前申し込み）



・利用者の権利擁護について



①三田療護園の1日

- ・ 6:00 起床
- ・ 8:00 朝食
- ・ 9:30 入浴（午前、午後）
- ・ 10:30 診察

※医師による診察

- ・ 12:00 昼食

※季節にあわせた献立です。

麺類や丼物のほか 選択メニューや月1回の出前サービスもあります。

- ・ 14:00 リハビリテーション

※理学療法士によるリハビリがあります。

- ・ 14:00 日中活動

※クラブ活動・カラオケ・映画会、ボランティアによる
レクリエーションなどいろいろ創作活動が楽しめます。

- ・ 18:00 夕食

- ・ 22:00 消灯

Wifi環境
完備



②活動紹介

・クラブ活動

華道クラブ



作品は療護園の玄関やホール
等施設内に飾っています。

書道クラブ



季節に応じた文字に取り組み
ています。

手芸クラブ



それぞれ個性を生かした作品
を先生と作られています

・三田療護園行事予定

※別紙三田療護園年間行事予定表参照

・レクリエーション活動

ショッピング



毎週木曜日に職員付き添いで、近くのショッピングセンターへ外出しています。

カラオケ



療護園の「のど自慢」たちが
今日も美声を響かせます

送迎（外出支援）



家族やボランティアとの個人
外出やグループでの日帰り旅
行時にリフト車で送迎可能。

・外出等について

面会、外出、外泊等については事前申し込みの上、全て可能。

③利用者との意見交換会

- ・令和7年より利用者全員参加の意見交換会再開（年1回）
 - ・利用者代表6名との意見交換会（不定期、令和6年2回実施）
- ※利用者と行事の打ち合わせや意見交換を実施
令和6年3月実施、食事に関する意見交換（別紙参照）

④利用者のリスクマネジメントについて

令和6年度事故等について

- ・虐待 0件、事故71件、ヒヤリハット167件
- ※ヒヤリハット・・・事故につながる可能性がある事例
※毎月、危機管理会議で事故、ヒヤリハットの確認及び改善方法検討

